

第30回 四国ストーマリハビリテーション講習会
ーフォローアップコースー

学習目標

GIO : General Instruction Objective

一般目標 : 学習の成果を表現したものー期待される学習成果

SBO : Specific Behavioral Objectives

行動目標 : 学習者が GIO を達成したという時、何ができるようになっているか

【講習会の目標】

排泄に問題を抱える人の健康的な日常生活への復帰を効果的に援助できるようになるために、ストーマリハビリテーションの基本的能力（理念、知識、技能、態度）を修得する。

1. 身体的管理困難なストーマケア

G I O : 管理困難なストーマ保有者に合わせた適切なストーマ装具を選択できるようになるためにストーマ装具・創傷治療材料について特徴を理解し、選択方法を修得する

S B O : 1) ストーマの局所的なフィジカルアセスメントが説明できる

2) ストーマの局所的なフィジカルアセスメントできる（演習目標）

3) ストーマの大きさ、高さ、形状、腹部の皺・窪みによる管理困難への対処方法について説明できる

4) ストーマと近接する創など*¹⁾への対処方法*²⁾について説明できる

*¹⁾ 離開創、潰瘍、ドレーンなどの医療器具の併存など

*²⁾ 創傷治療材料、陰圧閉鎖システムなど

5) 管理困難となるストーマ合併症*³⁾への対処方法について説明できる

*³⁾ ストーマ粘膜皮膚接合部離開、肉芽の増殖、粘膜皮膚移植、腸脱出、傍ストーマヘルニアなど

6) 管理困難となる皮膚疾患*⁴⁾への対処方法について説明できる

*⁴⁾ 発赤、糜爛、潰瘍、膿痂疹、真菌、薬剤性の皮膚症状（ステロイド、化学療法など）、尋常性乾癬、紅皮症、放射線性皮膚炎など

7) 瘻孔の分類*⁵⁾について説明できる

*⁵⁾ 開口部、形状、内容物など

8) 瘻孔への対処方法*⁶⁾について説明できる

*⁶⁾ ドレナージ、皮膚保護、パウチング法、持続吸引など

9) 身体的管理困難*⁷⁾への対処方法について説明できる

*⁷⁾ 手の巧緻性、視力、認知機能、全身状態など

10) 局所的な管理困難に対応できる人的資源*⁸⁾について説明できる

*⁸⁾ 医師、WOCN、看護師、ストーマ用品取扱業者

11) 管理困難に対応するための適切なケア方法が選択できる（演習目標）

2. ストーマ用品・創傷治療材料

G I O : 管理困難なストーマ保有者に合わせた適切なストーマ用品を選択できるようになるために、ストーマ用品・創傷治療材料について製品別の特徴を理解し、状況に応じて選択し貼付する方法を修得する

S B O : 1) 皮膚保護材の組成と特徴*⁹⁾が説明できる

*⁹⁾ 作用、形状別分類など

2) ストーマ装具の分類*¹⁰⁾が説明できる

*¹⁰⁾ システム、面板、二品系接合部、ストーマ袋など

- 3) ストーマ装具の分類の特徴と適応例について説明できる
- 4) 合併症を引き起こす要因となる不適切な装具の使用例*¹¹⁾が説明できる
*¹¹⁾ 面板ストーマ孔の大きさの不適合、面板形状の不適合、適正な貼付期間を超えて貼付、身体機能に不適合な接合部、排出口の選択など
- 5) 管理困難なケアに使用する創傷治療材料*¹²⁾の種類と特徴について説明できる
*¹²⁾ 創傷被覆材、陰圧閉鎖システムなど
- 6) 管理困難なケアに使用する外用薬の種類と特徴について説明できる
- 7) 創傷治療材料と外用薬の適応例について説明できる

3. 社会的管理困難

G I O : ストーマ保有者が安心して日常生活が送れるように、継続して適切なケアを提供し、社会的背景に配慮した退院後の社会資源の活用方法を修得する

S B O : 1) 管理困難となる社会的要因*¹³⁾について説明できる

*¹³⁾ 独居、高齢者世帯、家族の理解不足、看護師の知識・技術不足、入院期間短縮、経済的問題など

2) 管理困難に対応できる社会資源*¹⁴⁾の概略について説明できる

*¹⁴⁾ 障害者総合支援法、年金法、自治体による助成、難治性特定疾患、社会適応訓練事業、介護保険、医療保険（がん疾患、特定疾患）等

3) 社会的な管理困難に対応できる人的資源*¹⁵⁾および関係窓口について説明できる

*¹⁵⁾ MSW、退院調整看護師、ストーマ外来、訪問看護ステーション、地域連携病院、介護福祉施設、行政等

4) 人的資源や社会的資源を活用したストーマ保有者のフォローアップ計画を立案できる（演習目標）

4. 困難なストーマの位置決め

G I O : ストーマの位置決めの原則に当てはまらない患者が安全に手術を受けられるよう支援するために、患者の心理状態や社会的背景に配慮しながら、セルフケア可能なストーマの位置が決定できる能力を修得する

S B O : 1) 「ストーマの位置決めの原則」の理由と限界について説明できる。

2) 緊急手術時の位置決めにおいて配慮すべき点が説明できる

3) ストーマ造設予定位置が見えにくい場合*¹⁶⁾の位置決めにおいて配慮すべき点が説明できる

*¹⁶⁾ 肥満者、頸部等脊椎の拘縮/硬直、大きな乳房など

4) 術前後で腹部の形状が変化することが予想される場合の位置決めで配慮すべき点が説明できる

5) 腹部に安定した平面の確保が困難な状況*¹⁷⁾での位置決めにおいて配慮すべき点が説明できる

*¹⁷⁾ 腹部のたるみ、しわ、くぼみ、円背、腹壁ヘルニア、術創癒痕、瘻孔、ドレーン挿入等

6) がんの進行の程度や過去に行った骨盤内放射線治療の影響がある場合の位置決めにおいて配慮すべき点が説明できる

7) 困難なストーマの位置決めについて検討できる（演習目標）

5. 排尿ケア

G I O : 排尿に問題がある手術後の患者を支援するために、下部尿路機能障害を理解し適切なケア方法を修得する

S B O : 1) 下部尿路機能障害*¹⁸⁾が説明できる

*18) 代用膀胱の合併症を含む

- 2) 尿失禁、尿閉、頻尿、排尿困難の定義と発生機序が説明できる
- 3) 下部尿路機能障害の問題点のアセスメント* 19) について説明できる
* 19) 問診、排尿日誌、排尿自立度、下部尿路機能
- 4) 排尿日誌をつけることを指導することができる
- 5) 排尿日誌を解析することができる（演習目標）
- 6) 下部尿路機能障害の専門的検査*20) の概略を説明できる
* 20) 尿検査、尿流量測定検査、残尿測定、ストレステスト、尿流動態検査、膀胱鏡検査、尿路造影検査、パッドテスト等
- 7) 下部尿路機能障害の対処方法* 21) が説明できる
* 21) 薬剤、CIC（導入・計画）、排尿訓練等
- 8) 排尿機能を高める方法としてのリハビリテーション* 22) の適応が説明できる
* 22) バイオフィードバック、骨盤底筋訓練
- 9) 尿付着による皮膚障害についてアセスメントできる
- 10) 尿付着による皮膚障害の対処方法* 23) が説明できる
* 23) 洗浄方法・撥水剤・被膜剤・皮膚保護剤・外用薬など
- 11) 適切な排泄用具* 24) の選択が説明できる
* 24) シース型集尿器、カテーテル、おむつ、パッド
- 12) 排尿自立指導に伴う診療報酬制度の概要が説明できる
- 13) 残尿測定器を使用することができる（演習目標）